

156シャーを起因物とする死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2018	1	11 ～ 12	工場内で鉄板を加工する際、シャーリングで板を切断しようとし、誤って機械の安全ガードを越えて指を差し入れてしまった。その結果、機械の板押さえと鉄板の間に、左手中指、薬指の先を挟み粉碎骨折した。	24	7	11209	1～ 9人
2	2018	2	17 ～ 18	切断加工機で鉄板の切断作業を行っていたところ、鉄板を押さえていた手が滑り誤って切断部に手が入ってしまい左手の人差し指、中指、薬指の3本を負傷した。	18	8	30309	10 ～ 29 人
3	2018	2	15 ～ 16	派遣先工場内でシャー機械での鉄板切断作業にて、現場端末機（パソコン）に生産実績を入力後機械のところへ、戻ろうとしたときに、次の切断作業に急いで取り掛かろうとした際に、振り向きざまにシャー機のハンドルに勢いよく右手甲付近をぶつけてしまい負傷した。	32	3	170101	50 ～ 99 人
4	2018	2	9 ～ 10	フォイストクレーンの動きが悪く、シャーリング（材料切断機）テーブルの上に乗ってフォイストクレーンの状態を確認中に、足下に注意を払うことが足らず足を踏み外し、床に落ちたときにテーブルの角に右膝を強打した。	53	1	11203	100 ～ 299 人
5	2018	2	9 ～ 10	鉄板の切断作業中、誤って上段の切断機部分に左手を添えてしまい、カバーと皿に挟まり左手人差し指の先端部分を切断した。	22	7	11209	10 ～ 29

19	2018	7	17 ～ 18	工場でシャーリングで作業をしていたとき、紙の材料を切っているときに、左手の方に材料が引っ張られて、刃が当たってしまい、左手中指を負傷した。	51	7	11709	～ 49 人
20	2018	7	11 ～ 12	金属を切断する機会をウェスで清掃中、本来停止しているノコ刃が作動し、ウェスと手をノコ刃に巻き込まれ、手指及び手の甲の裂傷を負った。	62	7	11209	50 ～ 99 人
21	2018	7	16 ～ 17	先輩社員が工場内で作業しているのを見学中に、シャーリングのベルトコンベア部分に手を置いてしまい、そのまま機械に巻き込まれて左手を骨折した。	41	7	11203	30 ～ 49 人
22	2018	7	13 ～ 14	工場内にてシャーリングで板を切断中、誤って切断の踏み板を踏んでしまい、左手中指と薬指を切断した。	70	7	11209	10 ～ 29 人
23	2018	7	8 ～ 9	工場内でビックシャーを稼働しているとき、自動運転のスイッチを切らないまま、商品を目視しようと横押し部分に体を乗り入れた、そのときに横押しが戻りの可動が始まったため転倒し、左足を可動部の隙間に挟み左足5本指部分を負傷した。	53	7	11209	10 ～ 29 人
24	2018	8	13 ～ 14	会社倉庫内で鋼材切断中、切断機械で材料をセットし、切断中に物を取ろうとしたときに、切断していないもう1枚の刃に気付かず、左手薬指第一関節を切断した。	76	7	11209	1～ 9人
25	2018	8	14 ～ 15	切断機を使用して鋼板を切断していたとき、短くなった板を機械の中まで手を入れてセットしていたところ、鋼板を押しやるためのストッパーのフットペダルを誤って踏んでしまい、ストッパーに挟まれ負傷した。	48	7	11209	—
			10					50

26	2018	8	～ 11	アルミ型材を治具に当て切断した際、鋸刃に軍手が巻き込まれて右の人差し指・中指・薬指に裂創を負った。	38	8	11209	～ 99 人
27	2018	8	～ 10	工場内にてシャーリング切断機で鉄板を切断する作業中、足下のフットプレスを踏んだ際、誤って右手小指の先端が挟まれて骨折した。	60	7	11209	10 ～ 29 人
28	2018	8	～ 17	パットカッターの刃のところに段ボールが詰まり、それを抜きに行った際、刃物が降り指先を切断した。	20	7	10602	10 ～ 29 人
29	2018	8	～ 9	製品の間でイレギュラーで挟まったスクラップを取り除こうと、材料をバールで持ち上げスクラップを取り除こうとしたとき、万棒を挟まず手を入れてしまいバールから鉄板が外れ落ち、材料の鉄板の間に左手中指先端を挟み10mm切断した。	30	7	11209	50 ～ 99 人
30	2018	8	～ 15	シャーリングでアルミ板の切り出し作業を行っていたとき、部品が小型だったので手で押さえようと右手をシャーリングの切断部分近くまで挿入し、機械を始動したところ、右手中指第一関節中央部を切断した。	20	8	30203	30 ～ 49 人
31	2018	9	～ 10	下地工場カードラインで作業中、ギロチンの刃のところでフェルトが詰まって停滞したため、フェルトを手で押し込んで流そうとしたところ、安全カバーが付いていたにも関わらず刃先まで指が届いて負傷した。	47	8	10203	10 ～ 29 人
32	2018	9	～ 10	下地工場カードラインで作業中、ギロチンの刃のところでフェルトが詰まって停滞したため、フェルトを手で押し込んで流そうとしたところ、安全カバーが付いていたにも関わらず刃先まで指が届いて負傷した。	47	8	10203	10 ～ 29 人
				下地工場カードラインで作業中、ギロチンの刃のところでフェルト				10

33	2018	9	9 ～ 10	が詰まって停滞したため、フェルトを手で押し込んで流そうとしたところ、安全カバーが付いていたにも関わらず刃先まで指が届いて負傷した。	47	8	10203	～ 29 人
34	2018	9	9 ～ 10	下地工場カードラインで作業中、ギロチンの刃のところでフェルトが詰まって停滞したため、フェルトを手で押し込んで流そうとしたところ、安全カバーが付いていたにも関わらず刃先まで指が届いて負傷した。	47	8	10203	10 ～ 29 人
35	2018	10	13 ～ 14	工場内で中綴じ作業中、静電気により三方断裁の刃に切り屑が溜まっていたため、指で落とそうとしたところ、回転中の刃に接触し、右手人差し指を切断した。	76	7	10702	10 ～ 29 人
36	2018	10	16 ～ 17	工場内シャーリング設備で鉄板の切断作業中、鉄板を押さえようとクランプの下に指を入れたとき、誤ってフットスイッチを踏んだため機械が稼働し、右手人差し指を骨折した。	48	7	11209	30 ～ 49 人
37	2018	10	16 ～ 17	工場内切断機を使って作業中、押さえ棒に指を挟んだ。	46	7	11209	30 ～ 49 人
38	2018	10	15 ～ 16	作業場で単線カッター装置で作業中、単線が排出されないため確認しようとして排出口に手を入れたところ、切断刃が動き出して左手親指と人差し指を切断した。	38	8	11301	100 ～ 299 人
39	2018	10	14 ～ 15	工場内で切断機を使用中、機械が停止する前に鉄板を持ち上げてしまい、鉄板と安全カバーの間に右手薬指と小指を挟んで骨折した。	42	7	11209	50 ～ 99 人

40	2018	11	9 ～ 10	工場でシャーリングマシンの点検・清掃作業中、モーターとタイミングベルトの間に左手中指を挟んだ。	60	7	30199	10 ～ 29 人
41	2018	11	11 ～ 12	工場で鉄筋を切断する際、鉄筋が長いので左手で押さえたところ、シャーが右手甲に接触し、裂創を負った。	50	7	11209	1～ 9人
42	2018	11	6 ～ 7	切断機を使用して、鋳造が終わったシリンダーを製品部とランナー部に分離する作業を行っていた。切断された製品部を治具から取り出して通い箱に入れる際、製品が刃の前に落ちた。被災者が取ろうとして左手を出したところ、回転中の刃に左手親指が接触し、切り傷を負った。	25	8	170101	50 ～ 99 人
43	2018	11	15 ～ 16	事業所内板金エリアで、シャーリングマシンを使って鋼板を切断していた。短くなった鋼板を更に切断しようとし、安全柵の中に指を入れた状態で機械を作動させたため、右手中指先端を切断した。	24	7	11401	100 ～ 299 人
44	2018	12	11 ～ 12	倉庫内作業場にて、金属切断機（シャーリング）で銅パイプを切断中に、切断されかけた銅パイプと跳ね返し防止板の間に左手親指を挟み、骨折した。	64	7	80109	10 ～ 29 人
45	2018	12	17 ～ 18	会社作業場にて、紙裁断機でシール用タック紙を裁断しているときに、乾燥による紙の反りを直そうとして指で押さえていた。その際、誤ってスイッチを入れてしまい、右手中指の爪全部が取れ、右手人差し指の先端の爪と指先を切った。	64	7	10709	1～ 9人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。